2021年6月8日　　NO.10

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

梅雨でしょうか

記録的に早くに始まった梅雨です。川原池の水量を見ていると雨量は確かに多いと思います。しかし、雨の日数は少ないような左の写真を見ていたらもう真夏です。ワクチン接種がより加速化して、いつもの夏に近づいてほしいと思います。難しいかな。
今は、だれもが気を抜かない感染症対策を。
わすれてならないのが熱中症対策、あたりまえですね。

ハナショウブ　ロクハ公園にはカキツバタもアヤメも植わっていません。どの花にも花びらの中心に黄色が見えます。

ハナショウブが見頃です。そんなにたくさん咲いているわけではなく、この花をめがけて人が集まるスポットではありませんが、きれいです。ロクハ公園らしいきれいさです。（私感）

ひんぱんに見られるようになったトンボ　6/6

シオカラトンボ
こちらは♀でシオカラトンボの名前にあっていない同じ種であるが、ムギワラトンボと呼んでいた人も多いはず

アオモンイトトンボ
イトトンボはこれから何種か見られますが発見しにくい。水辺で目を凝らすとこの種に出会えます。余り飛ばないので観察しやすい

ハラビロトンボ
腹部が太い、トンボの多くは腹部はシュッと細くなっていますがこの種だけはぼてっとしています。確認しやすいです

コシアキトンボ
ヤゴとして育ったっ空間からかなり離れます木々の間で空間を複数で飛び交い、虫を捕まえる活動をしています・

子育て真っ最中

１年じゅう公園で過ごす鳥たちは子育てで忙しそうです。巣の様子を見たいのですがなかなか出会えません。
行動が子育てシフトであることはわかります

ホオジロ
エサをくわえてすごく鳴いています。これからエサを運ぶんだろうと思いますが小鳥に何か伝えているようです。「これからエサを運ぶから静かに待て。見つからないように」 木々の茂みに入りましたがエサをねだる声はしませんでした。

コゲラ
木をつついてその中にいる虫を引っ張り出します。それですぐに食べると思いましたが、虫をくちばしでくたくたにする調理です。それでも食べずにくちばしでくわえながら新たなる猟を始めました。貯めてます。

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark
この２種の行動の動画アップします。

2021年6月1日　　NO.09

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

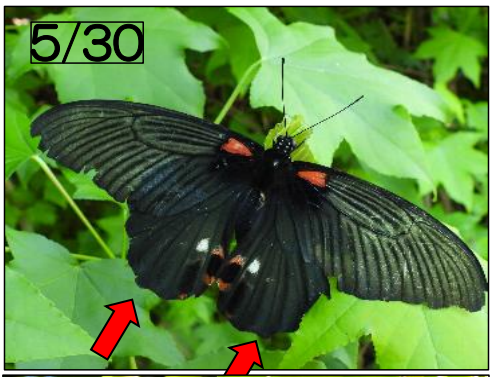
facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

先の土日は好天で多くの方が来園されていました。日曜日はテントがづらり、初めて見るような光景で緑化フェアなどの大きなイベントをやっているような感じでした。お天気だけでなく感染症対策として公園利用をされている方も多いでしょうね。屋外だからと気を抜かず密になりやすくなっていることに気をつけましょう。

ハルジオンからヒメジョオンへ

春先から今頃まで咲くのがハルジオン
今頃から寒くなるまで咲くのがヒメジョオン
花だけでは見分けがつきません。茎につく葉っぱの着き方が大きく異なります。
今の時期、両方。見られます。

コバンソウは向きを変えると麦の穂のように見えます。ヒメコバンソウはわかりにくいです。大きさの比較のためコバンソウをヒメコバンソウと並べて撮りました。ヒメコバンソウは小さくて見過ごしてしまいがちです



ナガサキアゲハ♀

とつじょ留まりました。ロクハ公園では最大のチョウです。黒いアゲハは他にもいますが、このアゲハは尾状突起がないことで見分けがつきやすいです（南方に行くと尾状突起が出る個体もあるようです）
ナガサキアゲハの由来は江戸時代に始まります。長崎のの出島で活動していたシーボルトが採取した場所を名前に付けました。

傷ついたアゲハ

こちらもとつじょ留まりました。翅がボロボロです
翅が半分以上なくなっているように思えます種類を見分ける特徴的な部位がないのでわかりません。
これでも飛んでいます。驚異です。

人気の飼育動物のエサやり

生き物にエサをあげるのはみんな大好きです。元気よく食べる様子は命を感じさせてくれるのだと思います。動物園などでもそんなイベントがあります。やれるエサの内容や量は考えられています。持ち込みがだめなのは当然です。そんなことを考える機会としても使ってください。
ロクハ公園で事務所でウサギとコイのエサが用意してあります。

2021年5月25日　　NO.08

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP　www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑　http://www.park-698.net/zukan/

梅雨入りして雨の量がすごいです。梅雨が明ける手前に強い雨になるイメージですが今期は早くに警報が出たりしています。気象庁の防災気象情報の伝え方も変わった年、私たちの防災意識も高める必要があります。

初見、ゴミグモの巣

食事跡の残骸を②の写真のように集めてそのごみの中に同化している姿ばかり見てました。③の写真を見た時あれって思いました。集めていたカスをほっぽり出してきれいな巣をつくっていました。糸に捕まった獲物を真ん中で手繰り寄せて食べていました

気になる２種

イタチハギ

「公園の端っこにあるのを確認していますが今回は中央部分で見つけました。繁殖力が旺盛で警戒されています。

ムネアカオオクロテントウ

頭が赤いテントウムシで教えてもらいました。2016年日本上陸だそうです。

貴重な晴れ間を大切に

砂場で砂浴びです。さらさらの砂をかぶる仕草が面白いです。鳥は羽の中を清潔に保つために水浴が大好き、スズメは砂浴びも

ニワゼキショウの花が、満開を迎えた時期です。長雨で花期が終わってしまうのではと心配していましたが、晴れ間には一斉に開いています

スイカズラの花が咲く今の時期アサマイチモンジチョウが飛び交います。雨上がりや朝方早くは羽を広げて体を温めます

2021年5月18日　　NO.07

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

梅雨入りが最早で宣言されました。ひと月近く、自然の暦が進むと私たちの暦も少なからず影響は出てきますね。
コロナウィルス感染症への対策と併せて付き合っていくしかないのですが。

昆虫酒場、開店しています。早すぎますけど。大型店はもう少し先のようです

樹液に夢中のカブトムシ♀
遠慮気味のオオスズメバチ

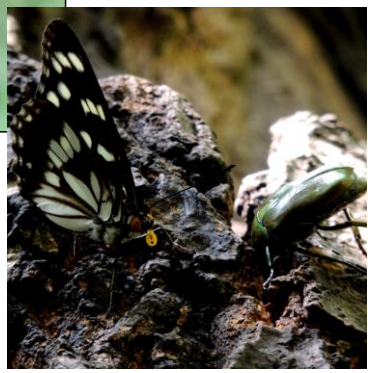
おかまなしの夢中のカブトムシ♀
少しイライラするオオスズメバチ
乱入キマダラヒカゲチョウ

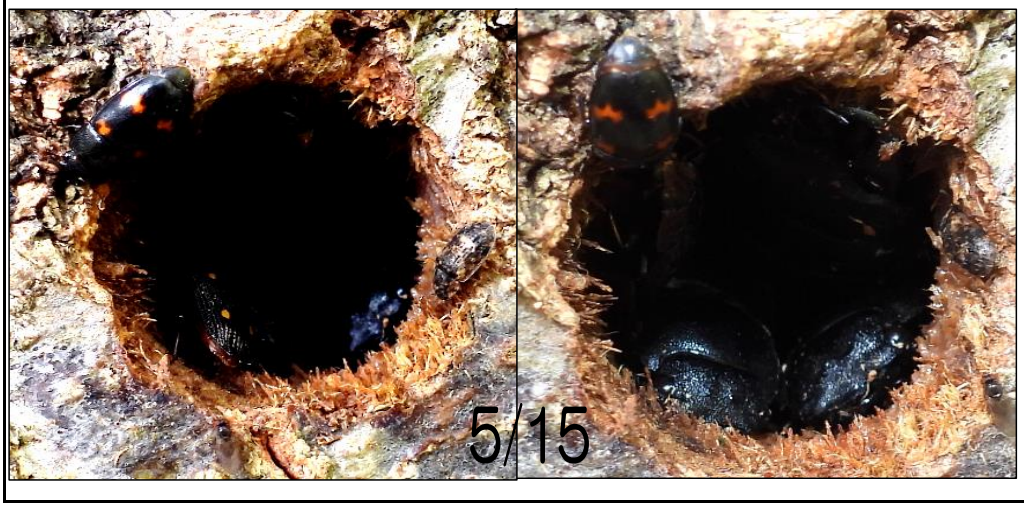
夢中のオオスズメバチ
翅をひろげて威嚇するコムラサキチョウ
構造色のムラサキがきれい

オオスズメバチはやっぱり大きい　ハエも
コメツキムシの仲間もたくさん来るサビキコリ(左)

キマダラヒカゲはストローで吸う
シロテンハナムグリは顔を突っ込む

常連客で
まだ来ていないのは
クワガタ
カナブンと
ゴマダラチョウ
ルリタテハ
あたり





左写真
左上のヨツボシケシキスイ
右横アカマダラケシキスイ
穴左ヨツボシオオキスイ
穴右クワガタか？

右写真
左上のヨツボシケシキスイ
右横アカマダラケシキスイ
穴左右クワガタか？

2021年5月11日　　NO.06

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

GWが終わり、さくらんぼ熱も落ち着きロクハ公園は初夏の雰囲気です。季節を追いかけ順番に咲いていきます。見のがしそうな花、紹介します。

無数の花がぶら下がるのは圧巻、真ん中の黄色い部分日にかざしてみると明かりがついたように見えます。この花の数だけまあるい実がぶら下がります。サポニンが多く洗剤として利用されたようです。

ニセアカシアなんて名前がつくと「アカシア」はと思いますが同じものだそうです。黄色い花のミモザを銀葉アカシアと呼ぶことに対してのものらしいです。

ハナミズキと仲間の木で花の造りがそっくり、ハナミズキは花が咲いて葉っぱですが、葉が花が付くので目立ちにくいです

ニワセキショウとオオニワゼキショウ

かわいい花がいっぱい咲いています。春先のオオイヌノフグリより広域に咲いています。よく見ると2色あります。白っぽいほうがオオニワゼキショウ花の大きさは紫色が大きい。。

カルミア

少しらせんしているつぼみはまさに金平糖、花が開くとまた神秘的、雄しべが花びらにつままれています。虫たちの行動によってその仕組みが解かれ受粉につながるそうです。

サクランボの日・鳥変身コンテストに集まった鳥たち。

2021年5月4日　　NO.05

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

地域のお祭りは昨年はゼロに等しかったのですが、今年はウィズコロナの形で取り組まれたようです。
お神輿の列が来たぞと思って外に出ると、お囃子の録音が流れる軽トラに神輿がのって去っていきました。
コロナ禍をよそに、ロクハの季節は移っていきます。

ユリノキは大きい花なのに高いところで咲いています。黄色い花は葉っぱに溶け込んでいます。
フジの花は手で触れるぐらいで見るときれい。高木を頼りに這い上っているフジはすごいです。
注意しないと見過ごしてしまいます。

エナガの一群に出会いました。通常出会う群れはたくさんの小鳥の声がやってきて過ぎていく感じです。この日は巣立ちの日みたいで、１０羽近くの群れを親が世話していました。えさをもらうために子どもが親を追っかけてました。写真は幼鳥の証、目のまわりが赤いです。

鳥たちは子育て中

コゲラはいつものように木々をめぐり食べ物をさがしていました。この日であったのは捕まえた虫たちを口に蓄えていました。ある程度たまると一直線に飛んでいきました。どこかで餌やりシーンが見られるはずです

ツリガネカズラ
中央花壇うしろの垣根に満開！
注意しないと見過ごす色合い
花の形が釣鐘

コアオハナムグリ
花の中に潜って吸蜜する、だから
ハナムグリ。花粉だらけになって
いることがよくあります。

ヘビイチゴ完熟
赤い実がつんと突っ立って誰もが
一度は食べてみたいと思ったはず
とってもまずいとか

サクランボ
鳥がやってきて食べる姿も見たい。
人がやってきて取っていくのは
はずかしい。このネットが話題に！

2021年4月27日　　NO.04

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP　www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑　http://www.park-698.net/zukan/

ゴールデンウィークで公園はにぎわうと思いますが、一層気を引き締めて過ごしましょう。
感染を拡大させない取り組みをすすめましょう。

公園入口の花壇、いろんな花がいっぱい咲いています。この花だん運営には全面的にボランティアの方々の活動で維持されています。感謝。

イチョウ並木とメタセコイアが公園の若葉の季節を感じさせてくれます。真ん中にある高床式の花壇が増えました。新しい景色が生まれそうです。

コウチュウたち

昆虫の分類の中で、甲虫の仲間はバラエティーに富んでいます。代表的なカブトムシ・クワガタからこれって甲虫？と思うゾウムシなど、図鑑の中では一番ページ数が多いです。

オトシブミ　葉っぱを巧みに巻物のように細工し、その中に卵を産み付けてる。
ウスチャコガネ　コガネムシは夏の暑い時期の虫のイメージですが、この種は春から初夏までとあります。
ヒメスナゴミムシダマシ　ダマシとつく名は似ているということ、ここではゴミムシに似ているとなる。このゴミムシダマシにも多くの種がある
ヨツモンクロツツハムシ　ハムシも種類が多いです。その柄の多さからテントウムシを思い出します。テントウムシも甲虫です
いっぱいいるので見つけようと思えば沢山出会えるはずです。甲虫独特の飛び方も面白いですこのオトシブミなんかはコバエが飛んでいるようにふんわり飛びます。。

アゲハチョウやタテハチョウの仲間もよく見かけるようになりました。

←アオスジアゲハ。　蛍光色ぽい水色はこの種独特なもので見分けるのは容易です。動きはすばやく採取しにくい。

コミスジ→　翅をあまりばたつかせずにグライダーのように飛び回ります。ヨコ三本線をイメージできますか。名前の由来です。一本タイプはイチモンジチョウ

2021年4月20日　　NO.03

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/

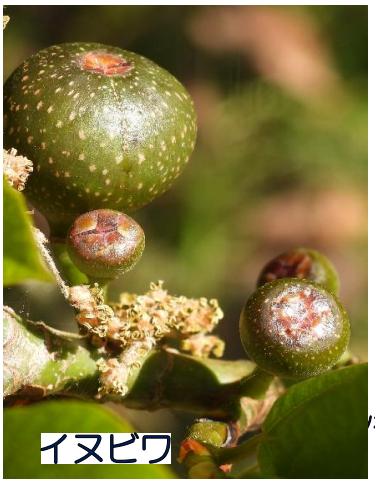
新型コロナ感染症の脅威は公園という野外の空間であっても逃れることはできません。みなさんの積極的な対策行動が安心・安全なロクハ公園を作ります。

命をつなぐ花

植物を見分けるのには、葉っぱを観察するのが一番いいそうです。花期は短いからどうしても花や実を追いかけます。目立つし旬を感じるかもしれません。この花も見れば見るほど不思議がいっぱい。それを見ていくだけで満腹になるし、多くを見逃しているのを知ります。

モミジバフウ

ヒメコウゾ


イヌビワ

クワ

モミジバフウ　ブドウ状に丸い房が重なっているのが雄花で、そこから出た花粉が下の丸い雌花に受粉して実に成っていきます
ヒメコウゾ　上にある球体で赤い毛が出ているのが雌花で、下の雄花の花粉で受粉します。オレンジ色のキイチゴのような実ができます。
イヌビワ　イチジクそのものですね。イヌイチジクにならなかったのは実の大きさがビワ程度だからでしょうか。この実自体が花です。
クワ　クワの実は粒々がいっぱい集まった実です。白く出ているのはそれぞれの雌しべの柱頭でしょうか。雄花にあたるものに出会ってないのです。

ハルジオン

ハルジオンがいっぱい。

ハルジオン（春紫苑）と書き、ヒメジョオン（姫女苑）と記す2種はそっくりです。

ハルジオンが先にさきはじめ5月いっぱいで、後発のヒメジョオンは冬が来るまで咲きます。5月ぐらいが混じっているのでどちらかなとよく迷います。ハルジオンの葉っぱは茎を包むようにつきます。ヒメジョオンは葉っぱに柄があるような感じです。

トンボをよく見かけるようになりました

眼がひっついている、いない

オグマサナエ

今の時期、よく現れるとしてサナエトンボの仲間がいます。早苗の時期に出て来るトンボ群です
ロクハ公園では4種ぐらい出会えると思います。小さめでよく似ているので見分けにくいです。シオカラトンボも飛び始めました。こちらのほうが大きいです。

シオカラトンボ

2021年4月13日　　NO.02

ロクハの自然

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark　ロクハ公園HP　www.park-698.net/　ロクハ公園HPいきもの図鑑　http://www.park-698.net/zukan/

「さくらはどうだ」という心配をする季節はひとまず終わりました。学校・園の入学式もおわり新しい年度のスタート。ソメイヨシノの開花時には、ま新しい制服とランドセルを背負った子どもたちの「前撮り」が多く見られました。春爛漫をむかえますが、コロナウィルス感染症への対策はますます重要になっています。野外の公園の利用でも十分に気をつけましょう

シロチョウ（モンシロチョウの仲間）

モンシロチョウ

モンキチョウ

キタキチョウ

ツマキチョウ♂

春の蝶の代表選手、モンシロチョウですが、この仲間をシロチョウといいます。白いちょうと黄色いチョウがいることを多くの人が知っています。ロクハ公園では、今の季節４種類を見ることができます。４種類といってもツマキチョウは今期初めて確認した次第です。今まで見落としていたのかいなかったのか確認できません。花にとまっていると簡単に見分けがつくのですが、ひらひらと飛んでいるのを見分けるには、目に焼き付けていくしかありません。吸蜜するときは特徴的な翅の裏側の様子で見分けられます。

ツマキチョウ♀

飛んでいるときは黄色と白の区分けぐらいでわかりにくいです。なおかつ、ツマキチョウのメスは黄色い特徴がありません。モンキチョウのメスには白いタイプがいます。

モンキチョウ♀

シジミチョウ

こちらはシジミチョウ、今の時期この５種類をよく観察できます。シロチョウよりもぐっと小さいのでじっくり見ないと種類かわからないです。写真を撮り拡大してみることで何の種かわかります。

コツバメ

ツバメシジミ

ルリシジミ

ベニシジミ

ウラギンシジミ

まだいます

ロクハ公園にやってきて、秋から冬にかけてすごし春になると移動する鳥たちがいいます。日中は見かけにくくなりましたが、早朝の多目的広場に下の三種がまだたくさん見られました。移動する日を見分けたいと思いますが、難しいですね。

頭の白化が目印に個体を識別できる珍しい例です。３年連続で公園に来ているのが確認されています。まもなく見られなくなると思いますが、来冬出会えることを楽しみにしています。ロクハのRをつけシロハラRとネーミングしました。」勝手に

シロハラR

アオジ

ツグミ

2021年4月6日　　NO.01

ロクハの自然.COM

ロクハの自然

桜最終章

ウワミズザクラ

御衣黄桜

今年は平年より早くに始まった桜シーズンです。感染症対策を講じてのお花見は2年続きになったことは残念ですが工夫した楽しみ方をされているように思います。ソメイヨシノの期間はピークを過ぎどんどん散っていきます。その間2週にわたり週末の雨でした。ロクハ公園のサクラ群は最終章です。サトザクラと表記される八重咲のサクラ（スポーツ広場の御衣黄桜を含）が満開になります。木肌や葉っぱは桜だけど、花の着き方が全く違うウワミズザクラも見逃せません。木々の中で忘れられがちなヤマザクラも。　　http://www.park-698.net/news/?id=887#

菫・スミレ　野草としてのスミレいろいろなタイプがありますさがしてみましょう

ニホンタンポポ

セイヨウタンポポ

タンポポ2種+1

花の下の緑いろの部分が反り繰り返ってないか。シロバナタンポポも見られます

シロバナタンポポ

facebook「ロクハ自然」を中心にロクハ公園内で出合えるいろいろな自然事象を紹介しています。新しく週刊を目指し「ロクハの自然」というタイトルで新聞のように「発行します。毎日の記事の再掲やその季節に合った特集内容のものを考えています。ロクハ公園を訪れる材料にしてください。またロクハ公園の思いめぐらすものにしてください。HPにはPDFファイルとしてダウンロードできます。facebookには画像ファイルとして置きます。

facebook「ロクハ自然」　www.facebook.com/rokuhapark/

ロクハ公園HP　　www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑　http://www.park-698.net/zukan/